

全国本田労働組合連合会 常任顧問
鈴鹿市議会議員

宮本 まさかず

『夢・希望・活力』 持続可能な鈴鹿の未来に向けて!

発行所

発行: 全国本田労働組合連合会 三重地方協議会
住所: 〒513-0847 三重県鈴鹿市平田町1907 本田技研労働組合 鈴鹿支部内

発行責任者 高津 健一
電話番号 059-378-0339



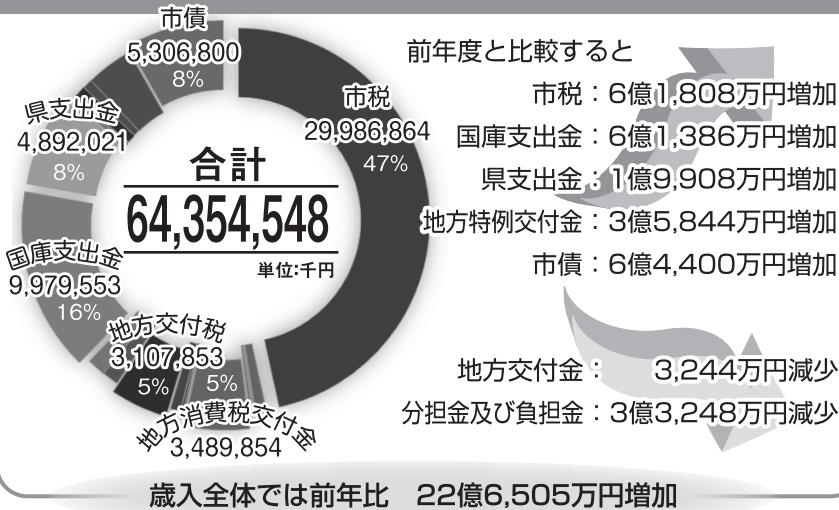
仲秋の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回は7月の臨時本会議ならびに9月定例会の内容が中心であります。
新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明な状況ではありますが、様々な機会を通じ市民の皆さまのご意見を拝聴させていただきながら、安心、安全、活力ある鈴鹿の将来に向けて一生懸命頑張っております。引き続きのご支援とご指導賜りますようお願い申し上げます。

宮本 正一

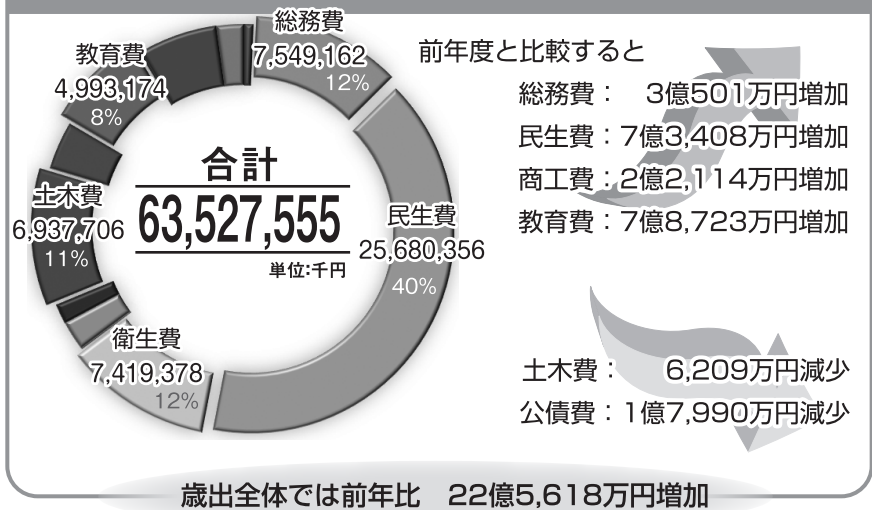
令和元年度 鈴鹿市会計決算

9月定例会において令和元年度鈴鹿市一般会計決算が認定されましたので抜粋して報告いたします。

歳入



歳出



宮本議員のコメント

令和元年度の実質収支額は、前年度から2億5,559万円減少し、3億106万円となっています。実質収支は直近10年間では、平成23年度の27億4,984万円をピークに減少を続けています。剰余金については、次年度の継続事業や財政調整基金に積み立てられることとなります。

現在は昭和に建設された公共施設や橋梁・道路などの社会的インフラを更新整備する財源を確保しつつ、新たな行政課題にも対応しなければならない環境であり、限られた財源の中で施策を厳選しつつ、その効果を最大化できるよう努める必要があります。

令和2年度 鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)事業概要

7月臨時本会議において補正予算(第4号)が可決されましたので抜粋して報告いたします。

1 新型コロナウイルス感染症対策に係る経費

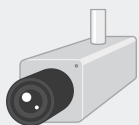
(1)感染拡大防止分

③庁舎等管理費/施設管理委託料(増額) 事業費:1,067万円

【財源】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫支出金)

【目的】庁舎内の感染拡大の防止

【内容】本庁舎本館の北・南・西玄関に、現行の防犯カメラから、入館者の体温を計測できるサーマルカメラへ交換・設置し、その他の各階などの防犯カメラについては、システム上の統一更新が必要なため、一般的なデジタル式のカメラへ交換する。



1 新型コロナウイルス感染症対策に係る経費

(1)感染拡大防止分

⑯防災施設環境整備費(増額) 事業費:2,299万円7千円

【財源】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫支出金)

【目的】避難所における感染症予防

【内容】国の通知に基づき、避難所での感染症予防策として、人と人との接触の低減を図るための資機材などを購入する。また、消毒用品や体調不良の避難者のための簡易ベッドなどを購入する。



✓ 一般会計補正予算第4号の6億8,234万4千円を追加

✓ 財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国庫支出金7億4,897万1千円

※差額の6,662万7千円については、財政調整基金からの繰入を減額しています。

令和2年度 鈴鹿市一般会計補正予算(第5号) 事業概要

9月定例会において補正予算(第5号)が可決されましたので抜粋して報告いたします。

1 新型コロナウイルス感染症対策に係る経費

(1)感染症拡大防止分

⑦放課後児童対策費(増額) 事業費:1億2,627万円

【財源】子ども・子育て支援交付金 4,536万3千円(国庫支出金)
 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 2,350万円(国庫支出金)
 子ども・子育て支援交付金 2,870万4千円(県支出金)
 一般財源 2,870万6千円

【目的】放課後児童クラブでの新型コロナウイルス感染症拡大防止
 【内容】放課後児童クラブでの感染症対策として、平日に午前中から開所するために必要な経費や感染症拡大の防止に必要な経費などの補助をする。



1 新型コロナウイルス感染症対策に係る経費

(2)生活支援分

②新型コロナウイルス感染症対策児童福祉事業費/子供支援事業(新規)

事業費:4,690万円

【財源】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫支出金)

【目的】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校が休業になり、様々な自粛とステイホームに協力していただいた児童や保護者の方のコロナ禍によるストレスの緩和を図るとともに、本市の魅力の再発見を促進し、観光業などの経済活動の回復へ寄与するため。

【内容】鈴鹿サーキットで利用できるチケットを配布する。
 ・入場券+乗り放題券(児童 約22,000人分) 市負担1/2
 ・駐車券(約17,500台分) 市負担1/2
 ・児童1人につき、保護者2人まで入場無料券 鈴鹿サーキット負担

【対象者】市内在住の15歳以下(中学校3年生以下)の全ての児童

【利用期間】令和2年10月1日(木)から令和3年3月14日(日)まで(予定)
 ※鈴鹿サーキットのイベント開催日など、一部除外日を設ける。

【実施方法】小・中学校や幼稚園、保育園などにチラシ(入場券交換)を配布する。



- ✔ 一般会計補正予算第5号の4億9,976万4千円を追加した補正後の一般会計予算の総額は、878億1,329万9千円
- ✔ 新型コロナウイルス感染症対策により増額となる事業は6億5,487万1千円、減額となる事業費は1億5,510万7千円
- ✔ 主な財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国・県支出金、5億871万円
- ✔ 地方交付税や繰越金の一般財源が増額となったため、財政調整基金からの繰入金を3億650万5千円減額

※その他の事業、詳細などについては鈴鹿市ホームページをご覧ください。 <http://www.city.suzuka.lg.jp/>

『令和3年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める』請願が本会議にて可決

9月定例会において自動車総連三重地方協議会より鈴鹿市議会に提出された請願が可決されました。

請願の趣旨

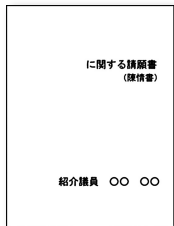
- 昨年度、取得税は廃止されたものの複雑且つ荷重な税負担が課せられており、様々な課題が残されている
- 国際的な水準比較からもユーザー負担の軽減が十分でない
- 令和2年度税制改正でも自動車税制の抜本的改革につながる道筋は示されていない
- 地方ほど世帯あたりの自動車関連諸税の負担が過重である
- 自動車税制の簡素化、負担軽減は地方経済の活性化に貢献が期待される
- 先進安全技術や自動運転技術などが自動車の技術にライドシェアサービスなどと連動し「つながる車」を普及する後押しをすることは大変重要である

請願の内容

- 1.車体課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減を図る
 - ①自動車重量税の「当分の間として措置される税率」を廃止する
 - ②自動車税・軽自動車税(環境性能割含む)の負担軽減措置を講ずる
- 2.燃料課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減を図る
 - ①燃料課税の「当分の間として措置される税率」を廃止する
 - ②複雑な燃料課税の簡素化
 - ③タックス・オン・タックスの解消
- 3.自動車使用に係るユーザー負担の軽減を図る
 - ①自動車保険(任意保険)の所得控除対象化
 - ②高速道路料金引き下げ
 - ③「サポカー補助金」の年齢制限の拡充(全年齢)

請願の流れ

・請願書作成



・鈴鹿市議会へ提出：8月20日



・本会議で採決：9月25日



全会一致で可決

・所管の委員会で内容を審議：9月14日



全会一致で可決

市議会の意思として

・国の関係機関へ意見書を提出



活動記録



活動月報

7月 July
7日 総務委員会
8日 各派代表者会議/会派会議
10日 スポーツ施設・アリーナ改革勉強会
10日 全日本自動車産業労働組合総連合会 組織内議員研修会
13日 夏の交通安全CTL活動
14日 全本労連政策検討会議
15日 会派会議
16日 まちづくり協議会
17日 総務委員会県内視察
22日 議会運営委員会/会派会議
29日 臨時本会議

8月 August
4日 総務委員会県内視察
11日 各派代表者会議
19日 本田技研労働組合第273回中央委員会
20日 鈴鹿市交通安全都市推進協議会
26日 9月定例会本会議開会
27日 議会運営委員会/会派会議
28日 本田技研労働組合 第62回定期大会

9月 September
3日 本会議質疑
3~9日 本会議一般質問
8日 議会運営委員会/各派代表者会議/会派会議
9日 予算決算委員会/正副委員長打合せ
11日 交通安全CTL活動/全国本田労働組合連合会第53回大会
12日 第30回エイチワン労働組合亀山支部総会
14日 総務委員会
18日 予算決算委員会/各派代表者会議/広報公聴会議
24日 議会運営委員会/会派会議
25日 本会議採決/全員協議会
26日 連合三重地域活性化フォーラム